

東北女子サッカー

八学大が準V

第39回東北女子サッカー選手権は3日、宮城県利府町のみやぎ生協めぐみ野サッカー場で、決勝1試合を行った。本県代表の八戸学院大学（八戸市）は聖和学園高校（宮城県）に0-4で敗れた。皇后杯全日本女子サッカー選手権への出場は逃したものの、県勢としては37年ぶりの準優勝となった。



東北女子サッカー選手権大会で準優勝した八戸学院大学の選手たち（同大提供）

「あと一歩だったが、強豪を破って決勝に行けたことはチームの自信につながった」と成果を挙げ、「今後の練習で攻撃の質を高め、インカレ予選では東北1位を目指す」と語った。（工藤慎子）

同選手権は東北各地から8校が出場し、9月26日に開幕した。同大は、1回戦で山形県代表の東北公益文科大学に1-0で勝利。準決勝では宮城県最強・常盤木学園高校に1-0で勝ち、決勝に進んだ。

決勝では、前半に2点を奪われると、攻撃の糸口を見つけられないまま後半にも2失点。1点が遠かった。

同大の畑中孝太監督は